

(仮称) 健都ライブラリーの整備について

1 概要

図書館が持つ機能を更に多機能化し、健康増進広場整備方針で必要とされるパーク施設の機能を融合させた(仮称)健都ライブラリーを健康増進公園に整備するものです。

2 施設の役割

- (1) 健康増進広場において、市民自ら積極的かつ継続的な健康づくりを推進し、広場に必要な機能に加え、更に効果を高め、多世代が交流するにぎわいや健康に関する学びや気づきの拠点施設
- (2) 「健康・医療のまちづくり」基本方針が示す予防医療や健康づくりの推進による健康寿命延伸と高齢者の生きがいづくり、そして地域活性化を進める「吹田モデル」の発信に寄与

3 施設イメージ及び主な活用方法

- (1) 図書機能 健康・スポーツ図書等に特化した専門ゾーンを設けたうえで、一般図書や映像ネット検索機能を充実
- (2) 多目的スペース 年間を通して健康講座や室内運動、専門図書や映像に基づく運動講座などの開催
- (3) 健康カフェ 緑の中で管理栄養士の指導に基づくランチやカフェが楽しみ、コミュニティの形成をサポート
- (4) 会議室 健康講座、コミュニティサロン、イベント企画会議に活用
- (5) パーク
ステーション 広場や多目的スペースを活用した健康イベントの企画や運動サポート、公園管理運営の拠点
- (6) ヘルスチェックコーナー 健康相談、最適な運動指導
- (7) オープンデッキ 公園を眺めながら本を読んだり、カフェやランチを楽しむことができるエリア
- (8) O系新幹線 公園・健都ライブラリーで活用

4 想定される施設規模

- (1) 建築面積 約 1,000 平方メートル
- (2) 延べ床面積 約 1,800 平方メートル
- (3) 階数 地上 2 階

5 管理運営方法

健都ライブラリーは、健康増進公園が持つ機能を補完し、更に機能を高める施設として、図書館機能や公園管理機能などを併せ持つ多機能な施設で、公園とともに効率的で効果的な施設運営や質の高い管理が重要であり、指定管理者制度の導入を目指すものです。

なお、健康イベント等については、指定管理者任せにするのではなく、市も積極的に関与しつつ、これまで培ってきたノウハウや取組など、これら施設を使った自らの取組も実施するほか、地域住民や地域団体による主体的な取組を支援する環境づくりを積極的に進める等、これまでの指定管理にとどまらない新たな取組の検討を進めます。

6 背景（参考資料）

- (1) 健康増進広場を計画するにあたり、医師や学識経験者、専門家で構成する整備方針等検討委員会を設置し、意見や助言を踏まえ、整備方針（案）を取りまとめ、周辺地域の市民への説明を経て平成 27 年（2015 年）12 月に策定しました。

検討会での議論では、個人やグループでの健康づくりや運動イベントの開催、複数のウォーキングコースを設定できること、健康に特化したカフェの設置等が求められており、特に、季節や天候を気にせず、健康づくりができる場の確保が重要であるとの強い意見・助言を得ています。

- (2) 健都が位置する片山・岸部地域は、中央図書館が立地していますが、岸部地区からは遠方である一方、同地域では公共施設での講座や教室で学んでいる市民が約 20%と他地域より多く、地域からも図書館設置の要望があります。また、吹田市立図書館基本構想においても、「図書館利用が不便な地域である、岸部地域への図書館整備を図る」とされています。
- (3) 国において検討されている「生涯活躍のまち（日本版 CCRC）」構想において、健康づくりや生涯学習等に主体的に参加できる健康でアクティブな生活の実現等を目指しており、本市の地方版総合戦略（案）においても健康寿命延伸に向けた健都版 CCRC の取組として健都ライブラリーの整備を位置付けています。